

探検家でノンフィクション作家の角幡唯介さんは、旅先で飲み水を作ったり調理をする際、使い慣れた灯油ストーブを使っておられます。角幡さんが灯油ストーブを選ばれた理由は海外でも燃料を入手しやすいこと、そして現地の人たちも灯油ストーブを日常的に使っているため故障しても簡単に修理ができるからだそうです。

スター商事では角幡さんが長期にわたる海外の旅を終えて帰国された際、定期的にストーブの修理やオーバーホールのお手伝いをしています。角幡さんの愛用ストーブは以前は古いオブティマス OOL ですが今はマナスル 121 です。

私たちは長年使い込まれた古いストーブを修理するのが大好きです。灯油ストーブやランタンにはそれぞれ個性がありひとつとして同じ燃え方はしません。青く飛び散るような炎もあれば赤味がかかったおとなしい炎もあります。ストーブの機嫌をとりながらきれいに燃えるよう調整していきます。

灯油ストーブの炎にはなんとも言えない頼もしさと優しさがあります。

灯油ストーブを使っていると懐かしい気持ちになり不思議と心が落ち着いてきます。

時間をかけて予熱をしなければならない灯油ストーブやランタンは取り扱いが少々面倒ですが、単に便利さだけでなく使うことで豊かな気持ちにしてくれる、そんな道具をお探しの方は是非灯油ストーブや灯油ランタンを試してみてください。

スター商事は喜んでお手伝いさせていただきます。

Close to you, close to nature.

みなさまと共に、自然と共に。

株式会社スター商事

